



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 朝日ラバー

コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部企画グループ長

(氏名) 久保田 敬之

TEL 048-650-6051

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,898	△4.2	75	△51.7	65	△60.4	46	△55.7
27年3月期第2四半期	3,025	9.8	156	31.6	166	37.9	104	35.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 50百万円 (△48.7%) 27年3月期第2四半期 98百万円 (△37.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	10.20	—
27年3月期第2四半期	23.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	8,732	3,616	41.4	795.17
27年3月期	9,184	3,610	39.3	794.03

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,616百万円 27年3月期 3,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	10.00	13.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	13.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,110	0.8	291	153.8	277	126.5	188	△42.9	41.34

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	4,618,520 株	27年3月期	4,618,520 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	70,912 株	27年3月期	70,912 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	4,547,608 株	27年3月期2Q	4,547,620 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」を策定し、平成26年4月からスタートした新中期三カ年計画を「V-1計画」と位置付け、「技術革新を基盤に新しい価値を創造し続ける企業となる」をコンセプトに、重点事業領域を自動車・医療・ライフサイエンスの3つとし、各事業分野で事業基盤の整備と強化、収益の柱となる主力製品の受注拡大、当社技術を活かした新製品の創造を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は顧客の在庫調整の影響等により28億9千8百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。利益面では、販売減の影響等により連結営業利益は7千5百万円（前年同四半期比51.7%減）、連結経常利益は6千5百万円（前年同四半期比60.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4千6百万円（前年同四半期比55.7%減）となりました。

また、当第1四半期連結累計期間より「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車関連製品においては、ASA COLOR LEDの受注は第1四半期までは自動車メーカーの販売・生産計画調整の影響を受け減少しておりましたが、第2四半期には海外向けの受注が増加いたしました。一方、機能製品であるRFIDタグ用ゴム製品は海外向けの受注が新機種対応で受注調整が続いていることから減少いたしました。スポーツ用ゴム製品である卓球ラケット用ラバーの受注についても顧客在庫調整が続いており受注は減少いたしました。また、来年度に予定しておりますマイクロ流体デバイス関連の増産に向けたコスト負担がありました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は23億6千8百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。またセグメント利益は1億3千5百万円（前年同四半期比48.7%減）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、プレフィルドシリンジガセット及び採血用・薬液混注用ゴム栓を販売している一部顧客の生産調整の影響により、売上高は減少いたしました。一方、前年同四半期には一部の製品において品質管理に係るコスト増等があったことから営業費用は大幅に減少いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は5億2千9百万円（前年同四半期比11.9%減）となりました。セグメント利益は4千8百万円（前年同四半期比37.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて4億5千1百万円減少し、87億3千2百万円となりました。その主な要因は、流動資産のその他に含まれる未収入金、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて4億5千7百万円減少し、51億1千6百万円となりました。その主な要因は、役員退職慰労引当金の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて5百万円増加し、36億1千6百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて1千6百万円増加の7億5千9百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは8千5百万円の収入（前年同四半期は2億1千万円の収入）となりました。

これは主に役員退職慰労金の減少額3億4千9百万円（前年同四半期は3千8百万円の増加）、法人税等の支払額1億5千万円（前年同四半期は8千9百万円）があったものの、保険金の受取額2億1千8百万円、税金等調整前四半期純利益7千万円（前年同四半期は1億5千6百万円）、減価償却費2億1百万円（前年同四半期は1億9千8百万円）及び、売上債権の減少額8千万円（前年同四半期は1億6千7百万円の増加）等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5千2百万円の支出（前年同四半期は3億3千3百万円の支出）となりました。

これは主に定期預金の払戻による収入16億2千5百万円（前年同四半期は13億8百万円の収入）があったものの、定期預金の預入による支出14億5百万円（前年同四半期は12億6千万円の支出）、有形固定資産の取得による支出1億1千1百万円（前年同四半期は3億4千万円の支出）及び、投資有価証券の取得による支出1億5千万円（前年同四半期は3千4百万円の支出）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは5千9百万円の収入（前年同四半期は1億7千3百万円の収入）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出5億7千7百万円（前年同四半期は5億8千8百万円の支出）があったものの、長期借入れによる収入7億円（前年同四半期は8億円の収入）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月9日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,300,124	2,307,259
受取手形及び売掛金	1,732,112	1,640,060
電子記録債権	66,845	81,066
商品及び製品	162,566	130,846
仕掛品	236,838	201,001
原材料及び貯蔵品	100,752	93,892
その他	472,687	238,038
貸倒引当金	△1,612	△1,626
流動資産合計	5,070,315	4,690,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,126,211	1,083,709
機械装置及び運搬具(純額)	1,168,001	1,109,317
土地	887,802	887,802
その他(純額)	165,848	181,162
有形固定資産合計	3,347,864	3,261,990
無形固定資産	9,608	8,926
投資その他の資産		
その他	760,492	774,918
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	757,070	771,496
固定資産合計	4,114,543	4,042,413
資産合計	9,184,858	8,732,952
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	599,296	408,616
電子記録債務	443,521	565,696
短期借入金	15,914	-
1年内返済予定の長期借入金	996,655	1,047,575
未払法人税等	148,945	25,538
役員退職慰労引当金	358,968	-
その他	439,584	388,589
流動負債合計	3,002,886	2,436,015
固定負債		
長期借入金	1,933,419	2,005,274
役員退職慰労引当金	101,532	111,137
退職給付に係る負債	517,834	522,477
その他	18,241	41,935
固定負債合計	2,571,027	2,680,824
負債合計	5,573,914	5,116,840

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	2,415,546	2,416,453
自己株式	△45,739	△45,739
株主資本合計	3,344,646	3,345,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,368	134,931
為替換算調整勘定	123,929	135,627
その他の包括利益累計額合計	266,297	270,558
純資産合計	3,610,944	3,616,112
負債純資産合計	9,184,858	8,732,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,025,005	2,898,597
売上原価	2,253,255	2,211,844
売上総利益	771,750	686,752
販売費及び一般管理費	614,770	610,958
営業利益	156,979	75,793
営業外収益		
受取利息	775	822
受取配当金	2,797	3,168
為替差益	7,459	-
受取手数料	3,059	2,386
雑収入	6,794	5,408
営業外収益合計	20,886	11,786
営業外費用		
支払利息	9,542	8,044
為替差損	-	4,417
複合金融商品評価損	-	7,054
雑支出	2,304	2,318
営業外費用合計	11,847	21,834
経常利益	166,018	65,745
特別利益		
補助金収入	58,466	72,400
特別利益合計	58,466	72,400
特別損失		
固定資産除却損	11,178	529
固定資産圧縮損	56,674	67,335
特別損失合計	67,853	67,864
税金等調整前四半期純利益	156,631	70,280
法人税等	51,953	23,897
四半期純利益	104,677	46,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,677	46,383

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	104,677	46,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,955	△7,437
為替換算調整勘定	△33,961	11,697
その他の包括利益合計	△6,006	4,260
四半期包括利益	98,671	50,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,671	50,643

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	156,631	70,280
減価償却費	198,200	201,565
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,465	11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	38,281	△349,363
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	25,284	4,510
受取利息及び受取配当金	△3,573	△3,990
支払利息	9,542	8,044
為替差損益 (△は益)	△2,697	693
有形固定資産除却損	11,178	529
固定資産圧縮損	56,674	67,335
複合金融商品評価損益 (△は益)	—	7,054
補助金収入	△62,290	△74,461
売上債権の増減額 (△は増加)	△167,049	80,241
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,602	75,445
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,155	△68,806
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26,729	△54,282
その他	△29,462	△16,822
小計	243,227	△52,015
利息及び配当金の受取額	3,563	3,996
補助金の受取額	62,290	74,461
保険金の受取額	—	218,119
利息の支払額	△9,534	△8,248
法人税等の支払額	△89,160	△150,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,385	85,663
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,260,849	△1,405,328
定期預金の払戻による収入	1,308,677	1,625,034
有形固定資産の取得による支出	△340,632	△111,762
投資有価証券の取得による支出	△34,449	△150,750
その他	△6,443	△9,654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,697	△52,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△15,939
長期借入れによる収入	800,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△588,389	△577,225
配当金の支払額	△22,407	△43,147
その他	△15,719	△4,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	173,483	59,455
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,937	3,453
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	40,232	96,111
現金及び現金同等物の期首残高	702,589	663,285
現金及び現金同等物の四半期末残高	742,821	759,396

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,423,582	601,423	3,025,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,423,582	601,423	3,025,005
セグメント利益	263,830	35,253	299,083

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	299,083
全社費用（注）	△142,103
四半期連結損益計算書の営業利益	156,979

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,368,993	529,603	2,898,597
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,368,993	529,603	2,898,597
セグメント利益	135,386	48,413	183,799

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	183,799
全社費用（注）	△108,006
四半期連結損益計算書の営業利益	75,793

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。